

循環協にいがたの発刊にあたって



一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会長 青木 俊和

秋たけなわの頃、皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。

本年度の総会については、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことから、従来のように多くのご来賓に出席いただき、懇親会を含め無事に開催することができました。この場を借りまして、会員の皆様、関係者の皆様の後協力に感謝申し上げます。

さて、感染症が広まったこの間に、社会の仕組みは大きく変化しました。加えて、ウクライナ侵攻から始まったエネルギー資源の高騰は、物価全体の高騰を引き起こし、働き手の不足と相まって、まことに頭の痛い状況が続いております。

また、今年の夏は、全国的に暑かったとは思いますが、新潟でも雨の降らない猛暑が続き、8月の平均気温が平年より4℃も高く、観測史上初めて30度を超える記録的な暑さとなりました。

その影響は、夏場のみに限らず、多くの農作物が減収、品質低下に見舞われ、山の食糧不足で熊の出没数がこれまでになく増えるなど、秋になっても様々なところに現れています。

これも地球温暖化の一端とも思え、改めて、なんとかしなければ、大変なことになってしまうと感じるところです。

世界では、国連が推奨するSDGsに見られるように、持続可能な社会づくりに向けて「環境への取組」に大きく舵を切っています。日本も2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、あらゆる分野での取組が進められています。

私たちの業界に関しても、先日、環境省が「静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会」を立ち上げ、脱炭素化と資源循環の統合を加速していくためにはどのようなことが必要かといった議論を開始しました。この議論の中で、資源循環を進める上で課題となる現状の法制度、支援策等の見直しなどが議論されるものと思いますので、これら議論の行方を注視していきたいと考えています。

しかし、いずれにしても私たち産業廃棄物処理業務に携わる者は、日々の生活と経済の安定確保に不可欠な業務として、その事業を確実にやっていく必要があることに違いは無く、今は「資源化による循環型産業」へと大きく飛躍する転換期と捉え、社会状況の変化に柔軟に対応しながら、産業廃棄物の適正処理、資源循環の推進、労働安全衛生や地球温暖化対策の取組、人材育成、災害廃棄物処理への対応等をしっかりと進め、次の一步を踏み出すための足元をしっかりと固めていきたいものです。

さて、今回の表紙は、長岡まつり大花火大会です。この花火はフェニックスと呼ばれ、中越大震災からの復興を祈って打ち上げが始まったものです。私たちも、不死鳥のようにあらゆる混迷を払しょくし、この不確実な時代を乗り越え、未来へと羽ばたいていきたいと思います。

これからも会員皆様の協力と行政、関係団体の皆様からのご支援のほど、よろしくお願いします。

令和5年度 通常総会の開催

令和5年6月7日（水）ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市）において令和5年度通常総会を開催しました。

出席者は、正会員401社（委任状出席者を含む）、賛助会員7社でした。

総会は、小柳産業（株）の小柳秀樹氏の司会によって進められ、近藤正明副会長による開会の辞によって開会しました。

議長には、（株）環境保全事業の佐藤秀幸氏が選任され、議事録記名人には佐渡緑のリサイクル協同組合吉田富司幸氏と（有）上越重機工業の市村重久氏が指名されて議案の審議が進められました。

議案審議では「令和4年度事業報告・令和4年度決算報告」が質疑、異議共になく可決承認されました。

また、「理事辞任による補欠理事の選任の件」に関して質疑、異議ともになく提案どおり新役員が承認されました。

続いて、令和4年度末の理事会で承認されている「令和5年度事業計画に関する件」及び「令和5年度収支予算に関する件」を報告し審議を終了しました。

その後に行われた表彰式では、青木俊和会長から功労者3名、優良事業所11社、優良従事者12名の方々に表彰状の授与が行われました。また、本年度、（公社）全国産業資源循環連合会長表彰を受賞された、優良事業所1社、地方功労者6名、地方優良事業所7社、優良従事者8名の方を会場で紹介しました。

休憩を挟んで（公社）全国産業資源循環連合会 前専務理事 森谷 賢氏による「処理の「受け手」から資源・エネルギーの「創り手」へ」と題する講演が行われました。

その後、来賓をお迎えし、最初に当協会の青木俊和会長が挨拶し、花角英世知事（代理 橋本憲次郎副知事）、中原八一新潟市長（代理 朝妻 博副市長）、斎藤洋明衆議院議員、楡井辰雄新潟県議会議員、協会顧問の皆川雄二県議会議員からご祝辞をいただきました。

次に、来賓紹介に移り国土交通省北陸地方整備局企画部 荒木誠一技術企画官、県環境局資源循環推進課 南 直樹課長、同課不法投棄対策室 鈴木邦英室長、同課産業廃棄物係 高橋雅昭係長、県土木部技術管理課 江部俊浩課長、同課 坂井 浩政策企画員、新潟市環境部廃棄物対策課 佐藤伸一課長、同課廃棄物指導室 清水 智室長、新発田地域振興局 岩浪春輝環境センター長、三条地域振興局 大沢昌一郎環境センター長、長岡地域振興局 棚橋成一環境センター長、南魚沼地域振興局 大野勝之環境センター長、上越地域振興局 柴田敏行環境センター長、佐渡地域振興局 西潟良成環境センター長、（公財）新潟県暴力追放運動推進センター 家老直貴専務理事の皆様方を紹介しました。

さらに、佐藤信秋参議院議員、協会顧問の石井 修県議会議員、（公社）全国産業資源循環連合会永井良一会長からの祝電を披露し、曾根 剛副会長による閉会の辞によって令和5年度通常総会を終了しました。

令和5年度 通常総会



会長 あいさつ



近藤副会長の開会の辞



新潟県知事祝辞（代理 橋本副知事）



新潟市長祝辞（代理 朝妻副市長）



曾根副会長の閉会の辞



総会会場の様子

開会挨拶

一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会 長 青 木 俊 和

通常総会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より当協会の運営にご協力を賜わり誠にありがとうございます。

本日、新潟県知事様、新潟市長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、総会を開催することができました。この場を借りまして、心から御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが変わってから1か月経ち、これまで休止していた行事が復活されるなど、社会が従来の姿に戻りつつあることを実感しております。コロナ禍のこの3年あまりの間に、エッセンシャルワーカーである我々の業界に対しての期待は、より大きく、より明確になりました。しかし、その一方で、エネルギー資源や原材料の高騰、人材の不足など、我々の業界を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。この様な厳しい状況にあっても、我々は将来の事業を担う人材の確保・育成を進め、良好な職場環境の確立を図り、社会の変化に乗り遅れることの無いよう、将来を見据えた取組を、積極的に進めていく必要があります。

現在、各県協会で組織する「全国産業資源循環連合会」では、人材の育成・確保、低炭素化への取組、労働災害の撲滅といった課題に向けた取組を進めており、当協会も、その動きに即して、廃棄物の適正処理はもとより、労働安全衛生の推進といった様々な課題に対応すべく、新任者から経営トップといった幅広い層に対する研修や各種情報発信等に、今年度も計画的に取り組んで行くこととしております。

つきましては、今後とも行政や関係団体の皆様との連携を深め、業界の社会的な信頼と価値を高めることで、循環型社会の構築、ひいては新潟の発展に、微力ではありますが貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様方からの一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご参集の皆様方の益々のご活躍と、ご健勝を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

祝 辞

新潟県知事 花 角 英 世

一般社団法人新潟県産業資源循環協会の令和5年度通常総会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃、産業廃棄物の適正処理を通じ、環境行政の推進に御理解と御協力をいただいております。また、昨年8月の豪雨災害においては、大量の災害廃棄物の迅速かつ適正な処理に、多大なる御協力いただき、災害復旧に大きく貢献いただきましたことに心から感謝申し上げます。

あわせて、かねてより協会を挙げて会員事業者の育成に尽力されておりますことに、敬意を表しますとともにこのたび優良事業所等の表彰を受けられました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、これまでも廃棄物の適正処理、3 R の推進に取り組まれてきたところですが、近年、世界的な課題となっている海洋プラスチックごみ問題への対応など、資源循環の推進はこれまで以上に求められており、貴協会が果たす役割は益々重要であり、今後の一層の取組に御期待申し上げます。

県といたしましては、「資源を大切に作る循環型の地域社会づくり」に向け様々な取組を進めており、かねてより貴協会からも御要望いただいている、上越地区における公共関与最終処分場の整備については、今年3月に柿崎区内2地区を整備予定地とし、順次整備を目指し事業を推進することといたしました。

引き続き、事業主体である新潟県環境保全事業団とともに地元・上越市などと十分に連携しながら、地域住民の皆様や関係機関への丁寧な説明に努め、令和13年度の供用開始に向け取り組んでまいりますので引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

祝 辞

新潟市長 中 原 八 一

一般社団法人新潟県産業資源循環協会の通常総会が開催され、誠におめでとうございます。

皆さまにおかれましては日頃より、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止活動、リサイクルの推進などを通して、本市の環境保全、生活環境の向上に多大な貢献をいただき、深く感謝申し上げます。

また先程ほどは、優良事業所や功労者、優良従事者の方の表彰が行われたとお聞きしています。栄えある表彰を受けられた皆さまには、心よりお祝いを申し上げます。

ご案内のとおり、世界各国で、よりよい未来を目指すための2030年までの「世界共通の目標」としたSDGsを達成する取組が進められています。日本においても、行政をはじめ民間事業者や市民団体など多様な主体において、SDGsの達成に向けた取組が進められているところです。

本市におきましても、地方公共団体としてSDGsの達成に貢献することを念頭に、新潟市総合計画2030を策定いたしました。

SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」では、「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」ことがターゲットの一つとして掲げられています。

この目標を達成するためには、資源消費や産業廃棄物の発生を抑制し、環境や社会に配慮した廃棄物処理が重要です。

会員の皆様におかれましては、産業廃棄物の適正処理と再利用を徹底するなど、廃棄物発生の削減に向け、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

さて、3年余り続いた新型コロナウイルス感染症も先月8日に5類に移行となり、大きな節目を迎えました。これまで皆さまにはエッセンシャルワーカーとして、産業廃棄物の適正な処理などを行っていただき、改めてお礼を申し上げます。

今後は、経済活動や地域活動などが本格的に動き出せるよう、しっかりと後押しし、まちや暮らしが活力にあふれる新潟を市民の皆さまと一緒にやっていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

結びに、一般社団法人新潟県産業資源循環協会のますますのご発展とご列席の皆さまのご健勝、ご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

新潟県議会議長 楡 井 辰 雄

一般社団法人新潟県産業資源循環協会の令和五年度通常総会の開催に当たり、県議会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から産業廃棄物の適正処理や再生利用による減量化などに取り組まれ、本県の環境保全や資源の有効活用に大きく貢献いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。その御功績に心から敬意を表しますとともに、今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

近年、産業構造の高度化や国民生活の多様化などを背景として、大量かつ多種多様な産業廃棄物が排出されており、その適正処理が重要な課題となっているとともに、持続可能な社会の実現に向けて、地球温暖化や廃プラスチックに対する取組などが求められております。

これに加え、新型コロナウイルス感染症も五類に移行し、個人消費の拡大をはじめとした経済の回復に期待が持てる状況になってきており、これに伴い、産業廃棄物の増加も見込まれるところであります。

県では、「脱炭素社会への転換」の取組と併せ、資源を大切にする循環型の地域社会づくりを進めており、産業廃棄物処理施設の整備や不法投棄を防止する対策の強化、さらには、減量化やリサイクルなど廃棄物の適正処理を一層進めていくためには、国や地方公共団体はもとより、貴協会を始めとした関係団体が一体となった取組が重要であります。

貴協会及び会員の皆様におかれましては、その中心としての役割を引き続き担い、産業廃棄物の適正処理や資源循環の推進に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

県議会といたしましても、新潟県の豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくため、資源を効率的に利活用し、環境への負荷を低減する「循環型社会」の構築に向け、各種施策を推進してまいります。

結びに、一般社団法人新潟県産業資源循環協会のますますの御発展と御列席の皆様方の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

一般社団法人新潟県産業資源循環協会役員名簿

令和5年6月7日

役 職	氏 名	企 業 団 体 名	支 部	備 考
会 長	青木 俊和	青木環境事業（株）	新 潟	
副会長	曾根 剛	曾根建（株）	新発田	支部長
〃	近藤 正明	（株）新潟ザーゼル工業	長 岡	支部長
〃	関 隆雄	新潟ガービッチ（株）	三魚沼	支部長
専務理事	小林 哲也	（一社）新潟県産業資源循環協会		
理 事	小柳 秀樹	小柳産業（株）	新発田	
〃	須貝 和正	（株）公衛社	〃	
〃	武藤 浩行	（有）武藤清掃工業	〃	
〃	富田 力	新潟特殊企業（株）	新 潟	支部長
〃	前田 正実	（有）新津清掃社	〃	
〃	齋藤 隆	（株）齋藤組	〃	
〃	吉田 誠吾	（公財）新潟県環境保全事業団	〃	
〃	大橋 崇	（株）大橋商会	〃	
〃	吉田 智彦	（有）吉田商事	〃	
〃	桐生 竜治	（株）丸正土木	県 央	支部長
〃	小田島藤吉	ふじ環境保全（株）	〃	
〃	渡辺 純	三島谷興産（株）	長 岡	
〃	元井 秀哲	大和運送建設（株）	〃	
〃	吉田 松明	（株）吉田鋼業	〃	
〃	酒井 栄一	中越環境開発（株）	〃	
〃	霜田真紀子	シモダ産業（株）	〃	
〃	大桃 政春	（株）小出環境サービス	三魚沼	
〃	長谷川茂徳	高木沢企業（株）	〃	
〃	飛田 剛一	飛田テック（株）	上 越	支部長
〃	熊木 晶	アイレック新潟（株）	〃	
〃	齊藤 昇治	（株）齊藤商事	〃	
〃	佐藤 秀幸	（株）環境保全事業	佐 渡	支部長
〃	越前 隆夫	越前工務店（株）	〃	
〃	市村 重久	（有）上越重機工業	青年部	部会長
〃	善宝 晋場	アイビス技建（株）	〃	
監 事	田村 雄作	環境技研（株）	新 潟	
〃	林 隆生	（株）丸共	長 岡	
顧 問	小田島繁信	ふじ環境保全（株）	県 央	

理事30名 監事2名 顧問1名 計33名

委員会名簿

総務企画委員会	◎青木会長、○関副会長、曾根副会長、近藤副会長、富田理事、桐生理事、飛田理事、佐藤理事
広報委員会	◎近藤副会長、○須貝理事、武藤理事、吉田（誠）理事（新潟）、吉田（智）理事（新潟）、小田島理事、吉田（松）理事（長岡）、霜田理事、大桃理事、齊藤理事、越前理事、市村理事
処理業振興委員会	◎曾根副会長、○渡辺理事、小柳理事、前田理事、齋藤理事、大橋理事、元井理事、酒井理事、長谷川理事、熊木理事、善宝理事

◎は委員長、○は副委員長

令和4年度の主な事業活動状況について

本協会は、産業廃棄物の適正な処理、資源循環の推進を一層進めていくこととし、令和4年度は、従来に引き続き産業廃棄物の適正処理対策への取組、資源循環の推進、不法投棄の防止はもとより、労働安全衛生や地球温暖化対策の取組、人材育成、社会貢献、災害廃棄物への対応等の事業を展開した。

より効果的な事業展開を図るために、国の機関、新潟県及び新潟市等の地方公共団体、(公社)全国産業資源循環連合会等の関係団体との連携を強め、的確な情報の収集を行い、会員等に対する情報提供を進めた。

また、新型コロナウイルス感染症に関して、必要な情報提供を行うとともに、事業の実施にあたっては、拡大防止措置を講じたうえ、十分な配慮を行った。

講習会・研修会事業についての詳細は以下のとおり。

～ 講習会・研修会事業 ～

(1) 産業廃棄物処理業許可申請等講習会

ア 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JWセンター)が実施する「産業廃棄物処理業許可申請講習会」等の実施に協力した。

令和4年度はWebによる講義と会場(新潟グランドホテル)での試験を組み合わせたオンライン型及び一部の講習会に関し講義ビデオ会場視聴型で実施された。

また、当協会では、来庁者や電話照会への対応、協会ホームページ等での周知、試験会場での受付等を担当した。

なお、令和4年度は、特別管理産業廃棄物収集運搬課程及び特別管理産業廃棄物処分課程が、新潟会場で開催された。

●オンライン型

種類	講習の種類	試験日	定員	受講者数
新規	収運課程	6/21	66	64
		12/7	66	58
		3/10	65	53
	処分課程	8/2	50	45
	特管収運課程	11/9	66	42
	特管処分課程	8/2	50	29

種類	講習の種類	試験日	定員	受講者数
更新	収運課程	6 / 21	66	64
		6 / 22	66	64
		8 / 3	66	59
		11 / 10	66	58
		12 / 7	66	63
		3 / 9	65	63
		3 / 10	65	63
	処分課程	8 / 3	50	46
		3 / 9	50	48

●講義ビデオ会場視聴型

種類	講習の種類	講習会開催日	定員	受講者数
更新	収運課程	11 / 8	50	14

イ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

新潟グランドホテルを試験会場にしたオンライン型での講習会の実施にあたり協力した。

試験日	定員	受講者数
6 / 22	66	63
11 / 9	66	64
11 / 10	66	65

(2) 産業廃棄物処理に携わる人材育成

ア 産業廃棄物処理に係る新任者研修会

新入社員や新任者の人材育成を図ることを目的として研修会を開催した。

日 時：令和4年5月23日（月）10時～16時

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内容及び講師：

① 産業廃棄物処理業界の概要

講師（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

② 労働安全衛生について

講師（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部

③ 産業廃棄物処理の基礎

講師（公社）全国産業資源循環連合会 専任講師

参 加 者：71名

イ 産業廃棄物処理実務者研修会

実務者クラスの人材育成を目的に研修会を実施した。

日 時：令和4年10月17日（月）13時～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：産業廃棄物の委託処理と委託契約、マニフェスト、帳簿作成等

講 師：（公社）全国産業資源循環連合会 専任講師

参 加 者：55名

ウ 産業廃棄物収集運搬運転業務担当者セミナー

収集運搬に携わるドライバーや運転業務管理を行う者等を対象に、法令内容を理解し適正処理や事故防止等を促す研修会を開催した。

日 時：令和4年11月22日（火）13時30分～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：廃棄物処理法、労働安全衛生、交通安全、運行管理等

講 師：新潟県警察本部 交通企画課 ご担当

（公社）全国産業資源循環連合会 専任講師

参 加 者：59名

エ （公社）全国産業資源循環連合会の人材育成プログラムにより実施する事業

e ラーニング講座、産業廃棄物処理実務者研修会、産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）をホームページや機関誌に掲載し、受講を会員等に促した。

（ア）産業廃棄物処理 e ラーニング講座

産業廃棄物処理に関わる全ての者を対象として、廃棄物処理法の基礎知識を習得するための研修会（収集運搬、中間処理、最終処分の各現場業務コース（3コース））

開 講：① 8月2日～8月30日 ② 9月2日～9月29日

③ 10月4日～10月28日

（イ）産業廃棄物処理実務者研修会（オンライン講座）

産業廃棄物の処理現場に従事する者を対象とした能力アップセミナー

開 講：春期 ① 5月6日～5月30日 ② 6月2日～6月24日

③ 7月4日～7月28日

秋期 ① 11月2日～11月29日 ② 12月2日～12月26日

③ 1月5日～1月30日

（ウ）産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）新潟会場

産業廃棄物を処理する上で必要な正しい法的基礎知識が身についていることを確認する試験（全国12会場で同時開催）

日 時：令和5年2月19日（日）10時～11時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

受 験 者：33名（新潟会場分）

(3) 労働災害防止に係る研修

ア 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会

リスクアセスメントの導入促進のための研修会を開催した。

日 時：令和4年9月30日（金）13時30分～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：講義1 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性

講義2 リスクアセスメントの基本と実施に向けて

演 習 リスクアセスメントの体験

講 師：（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部

参 加 者：48名

イ 安全衛生実践活動推進研修

「安全衛生パトロール」、「安全衛生規程の作成」といった実践活動の進め方を周知し安全衛生活動を推進することを目的とした研修会を開催した。

日 時：令和4年10月24日（月）13時30分～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

講 師：（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部

参 加 者：19名

(4) 電子マニフェストの普及促進

電子マニフェストの加入促進及び正しい使い方を周知することを目的に、マニフェスト操作体験セミナーを開催するとともに、JWセンターが開催するWeb説明会、説明動画等のホームページ等で周知した。

操作体験セミナー

日 時：令和4年10月12日（水）午前の部：10時～12時

午後の部：14時～16時

場 所：燕三条地場産業振興センター 情報研修室（三条市須頃1丁目17番地）

講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター

参 加 者：39名

(5) 新潟県から受託事業、県との共催事業

ア 産業廃棄物適正処理推進セミナー

排出事業者などに廃棄物処理法を理解する場を設けることで、産業廃棄物の適正処理意識の向上を図ることを目的として、講習会を県内各地で開催した。

令和4年度 開催日、開催市、会場、参加者数

開催日	開催市	会 場	参加者数
10月18日	長 岡 市	長岡新産管理センター 大会議室	74
10月19日	上 越 市	ユートピアくびき希望館 第三会議室	34
10月25日	佐 渡 市	佐渡市金井コミュニティセンター 大集会室	37

開催日	開催市	会 場	参加者数
10月28日	新発田市	新発田市生涯学習センター 講堂	48
11月1日	新潟市	新潟県民会館 小ホール	85
11月25日	三条市	燕三条地場産業振興センター リサーチコア	62
1月18日	南魚沼市	南魚沼市民会館 多目的ホール	45
合 計	—	—	385

講演内容・講師

(ア) 「産業廃棄物不法投棄の現状と対策」

新潟県地域振興局県民福祉環境部環境センターご担当

(新潟会場は、新潟県環境局資源循環推進課ご担当)

(イ) 「産業廃棄物排出事業者の排出責任等」

(公社) 全国産業資源循環連合会 専任講師 渡辺一法氏 (長岡、上越、南魚沼)

銀座高岡法律事務所 弁護士 三浦謙吾氏 (新潟、三条)

合同会社エコ・インテレクト 代表社員 松本津奈子氏 (佐渡、新発田)

イ 産業廃棄物処理業許可申請説明会

産業廃棄物処理業の許可申請を行う者を対象（＊）に、申請書の作成方法に関する説明会を開催した。（＊：更新許可申請を予定している会員にも案内を送付）

日 時：令和4年7月22日（金）13時30分～15時30分

場 所：新潟県自治会館 201会議室（新潟市中央区新光町4-1）

内 容：産業廃棄物処理業の許可申請手続きについて

講 師：県資源循環推進課 産業廃棄物係 ご担当

参 加 者：19名

(6) 課題対応型研修

ア トップセミナー

業界を取り巻く新たな課題にどう取り組むべきかとのテーマに沿って、経営者層を主な対象とするセミナーを開催した。

日 時：令和5年1月17日（火）15時～17時

場 所：新潟グランドホテル 常磐の間（新潟市中央区下大川前通町3ノ町2230）

講 師：1 「産業廃棄物処理業における労働災害防止の取り組み」

（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

2 「SDGs入門 ～企業はなぜSDGsに取り組むべきか？～」

長岡技術科学大学 勝美麻美氏（＊）

（＊）新潟県中小企業団体中央会からの斡旋講師

参 加 者：27名

イ 会員企業への講師派遣

会員企業が廃棄物処理法の内容で社内研修を実施する場合の講師を派遣することとしており、令和4年度は1件（令和5年1月5日（木））の講師派遣を行った。

令和5年度 一般社団法人新潟県産業資源循環協会 会長表彰受賞者名簿

功労者表彰（3名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	小 林 一 義	（株）小林建材	五 泉 市
三魚沼	南 澤 隆	南澤商会	魚 沼 市
上 越	熊 木 繁 雄	（株）アイシン	上 越 市

優良事業所表彰（11社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新発田	エバーグリーン（株）	須 貝 和 正	村 上 市
新 潟	（株）NKSコーポレーション	吉 田 琢 哉	新 潟 市
	環境整備（株）	善 宝 絵 梨	
	佐渡汽船（株）	尾 渡 英 生	
	（有）コウケン工業	水 野 将 道	
県 央	（有）山口建材	山 口 修	三 条 市
長 岡	環境資源開発（株）	酒 井 栄 一	長 岡 市
	しなの産業（株）	瀧 川 寛 人	
	長岡リサイクルセンター（株）	細 川 恭 一	
三魚沼	（株）湯沢重機建設	池 田 利 幸	湯 沢 町
上 越	上越建設工業（株）	西 川 広 範	上 越 市

優良従事者表彰（12名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新 潟	坂 井 宏	北陸保全工業（株）	新 潟 市
	楨 聡	（公財）新潟県環境保全事業団	
	池 田 昌 弘	新潟特殊企業（株）	
	長谷川 正 明	（株）不二産業	
	相 木 穂	（有）新津清掃社	
県 央	土 田 聡	（株）功明社	三 条 市
三魚沼	今 泉 洋 一	森下企業（株）	湯 沢 町
	高 橋 儀 男	新潟ガービッチ（株）	南魚沼市
上 越	齊 藤 広 行	飛田テック（株）	上 越 市
	松 崎 直 樹	上越マテリアル（株）	
	清 水 毅 彦	アイレック新潟（株）	
	玉 田 淳 一	（株）エコシステム	



令和5年度 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長表彰受賞者名簿

優良事業所（1社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
長 岡	シモダ産業（株）	霜 田 彰	柏 崎 市

地方功労者（6名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	渡 辺 浩 史	クリーンセンター（株）	胎 内 市
長 岡	酒 井 栄 一	中越環境開発（株）	長 岡 市
	元 井 秀 哲	大和運送建設（株）	柏 崎 市
	丸 山 司	（株）花園サービス	長 岡 市
三魚沼	関 文 夫	クリーン産業（株）	南魚沼市
上 越	高 原 潤	（株）高原商事	妙 高 市

地方優良事業所（7社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者	事業所所在地
新発田	（株）石井建材	石 井 信 幸	新発田市
新 潟	（株）北地区清総	水 野 正 夫	新 潟 市
	（株）平成クリーン	小 林 一 清	
	新潟エコサイクル工業（株）	齋 藤 隆	
長 岡	（株）丸共	金 内 宏 彰	長 岡 市
三魚沼	津南町農業協同組合	石 橋 雅 博	津 南 町
上 越	（株）上越商会	荊 木 文 明	上 越 市

優良従事者（8名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新 潟	倉 島 和 弘	（株）不二産業	新 潟 市
	石 川 正 彦	（有）新津清掃社	
	加 藤 治 樹	（株）ニッケン	
三魚沼	高 橋 春 雄	（株）高橋組	十日町市
上 越	阿 部 正 直	（株）マキタ創建	上 越 市
	池 田 直 也	飛田テック（株）	
	羽 賀 勉	上越マテリアル（株）	
	高 倉 豊	（株）エコシステム	

令和5年度 表彰受賞者

(一社) 新潟県産業資源循環協会 会長表彰
功労者表彰 優良事業所表彰



優良従事者表彰



(公社) 全国産業資源循環連合会 会長表彰

